



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日

上場会社名 三井製糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2109 URL <https://www.mitsui-sugar.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 雑賀 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 鈴木 康史 TEL 03(3663)3111
 四半期報告書提出予定日 2019年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	28,795	7.9	1,398	23.3	1,945	△35.4	1,276	△33.8
2019年3月期第1四半期	26,693	△0.1	1,134	△46.3	3,012	△32.3	1,929	△33.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,504百万円 (△25.6%) 2019年3月期第1四半期 2,022百万円 (△38.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	48.10	—
2019年3月期第1四半期	72.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	139,413	92,836	59.9	3,184.78
2019年3月期	139,867	95,063	61.1	3,201.11

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 83,562百万円 2019年3月期 85,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,000	7.3	5,100	36.3	5,100	△50.6	2,600	△62.1	97.98

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	28,333,480株	2019年3月期	28,333,480株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,095,270株	2019年3月期	1,631,540株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	26,536,870株	2019年3月期1Q	26,702,584株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、緩やかな回復基調で推移しました。一方、個人消費の伸びに一服感が見られ、設備投資や輸出も減少するなど、力強さに欠く状況が見られました。また、食品業界においても、人手不足を背景とした物流コストの増加、原材料価格の上昇等から事業環境は厳しさを増しています。

このような状況の中、当社グループは既存事業の収益力強化を図り、成長分野へ経営資源の再配分を進めることにより、堅固な事業基盤を確保すべく、各施策の実行に鋭意取り組みました。

(砂糖事業)

海外粗糖相場につきましては、期初は12セント半ばでスタートしたのち、国際商品市況の高止まりから、12セント後半で推移しました。4月末から5月にかけて、圧搾を終了した北半球の潤沢な在庫水準が伝えられると、相場は軟調配が鮮明となり、11セント前半まで下落しました。6月に入り、レアル高によるブラジルの輸出余力減少、投機資金の流入などを材料として、再び12セント半ばまで上昇しました。その後小刻みに上下を繰り返しつつ、12セント前半で当第1四半期末を迎えました。

販売面では、ゴールデンウィークにかかる10連休や、改元の祝賀ムードなどにより一時的に需要が盛り上がり、菓子・製パンユーザー向けの出荷は好調でしたが、飲料ユーザー向けの出荷は5月中旬からの反動減や梅雨寒もあり低調に推移したため、販売量は前年同期を下回りました。このような状況下、適正販売価格帯の維持に注力いたしました。コスト面では、運賃や燃料費の上昇、安定操業のための設備更新による減価償却費の増加などがありましたが、適切な原料糖調達に努めた結果、原料費が改善しました。

連結子会社では、生和糖業(株)は天候不順による収量減少、北海道糖業(株)では販売量が減少しましたが、前第3四半期末に連結子会社化したSIS' 88 Pte Ltdの連結により増収増益となりました。

以上の結果、砂糖事業全体で、売上高23,168百万円、営業利益992百万円となりました。

期中の砂糖市況

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり）

期を通じて187円～188円で推移

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値 12.53セント 高値 12.84セント 安値 11.36セント 終値 12.32セント

(フードサイエンス事業)

フードサイエンス事業につきましては、パラチニットはキャンディ向けやその他製菓向けが好調に推移し、パラチノースは販売量が減少したものの、利益率が改善され、営業利益は前年同期を上回りました。

連結子会社では、(株)タイショーテクノスは、新工場立ち上げに伴う初期費用発生等により減益となりました。また、ニュートリー(株)は、当期初に譲り受けた流動食事業により増収となりましたが、諸経費の増加により減益となりました。

以上の結果、フードサイエンス事業全体で、売上高5,132百万円、営業利益165百万円となりました。

(不動産事業)

不動産事業につきましては、岡山市で昨年11月から物流倉庫の賃貸を開始したこと等により売上高・営業利益ともに前期を上回り、売上高494百万円、営業利益240百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は28,795百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は1,398百万円（前年同期比23.3%増）となりました。

営業外損益においては、フィンゴリモド「FTY720」の開発権及び販売権の許諾に基づく受取ロイヤリティーについて、当社の共同特許権者である田辺三菱製薬株式会社とNovartis Pharma AG（以下、「ノバルティス社」）との間で仲裁手続きが進行中であることを受け、ノバルティス社が契約の有効性について疑義を提起している部分について収益としての認識を行わないこととした結果、受取ロイヤリティーは前年同期比63.0%の減となりました。

タイ国関連会社では海外粗糖相場低迷に伴い販売単価が下落し、また、沖縄、鹿児島関連会社では天候不順による収量減少の影響から、持分法による投資損失87百万円を計上し、経常利益1,945百万円（前年同期比35.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,276百万円（前年同期比33.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[連結財政状態の変動状況]

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比453百万円減少し139,413百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比100百万円増加し53,960百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加3,658百万円、受取手形及び売掛金の増加397百万円があった一方で、商品及び製品の減少4,046百万円等があったことによるものであります。

②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比554百万円減少し85,453百万円となりました。これは主として、建物及び構築物の減少200百万円等があったことによるものであります。

③負債

負債は、前連結会計年度末比1,772百万円増加し46,577百万円となりました。これは主として、借入金の増加2,300百万円があった一方で、支払手形及び買掛金の減少1,112百万円等があったことによるものであります。

④純資産

純資産は、前連結会計年度末比2,226百万円減少し92,836百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益1,276百万円、剰余金の配当1,468百万円、自己株式の取得1,122百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月14日に公表の通りであり、変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,232	18,891
受取手形及び売掛金	9,861	10,259
商品及び製品	19,473	15,426
仕掛品	1,835	1,403
原材料及び貯蔵品	4,454	4,935
その他	3,007	3,049
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	53,859	53,960
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,579	40,495
減価償却累計額	△25,199	△25,315
建物及び構築物 (純額)	15,380	15,180
機械装置及び運搬具	83,270	83,720
減価償却累計額	△65,215	△65,800
機械装置及び運搬具 (純額)	18,054	17,920
工具、器具及び備品	2,601	2,629
減価償却累計額	△2,088	△2,101
工具、器具及び備品 (純額)	513	527
土地	18,436	18,436
リース資産	912	914
減価償却累計額	△492	△515
リース資産 (純額)	420	399
建設仮勘定	459	823
有形固定資産合計	53,265	53,287
無形固定資産		
のれん	5,388	5,249
その他	3,282	3,192
無形固定資産合計	8,670	8,442
投資その他の資産		
投資有価証券	12,786	12,955
関係会社出資金	2,128	1,764
長期貸付金	23	22
退職給付に係る資産	501	504
繰延税金資産	1,008	957
その他	7,681	7,578
貸倒引当金	△58	△57
投資その他の資産合計	24,071	23,723
固定資産合計	86,008	85,453
資産合計	139,867	139,413

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,408	8,296
短期借入金	4,850	2,430
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	1,120	1,890
リース債務	97	98
未払費用	3,799	3,531
未払法人税等	1,411	1,161
役員賞与引当金	52	11
資産除去債務	108	108
その他	4,588	6,270
流動負債合計	35,437	33,797
固定負債		
長期借入金	2,550	6,500
リース債務	351	323
繰延税金負債	1,589	1,222
役員退職慰労引当金	268	194
退職給付に係る負債	2,812	2,786
資産除去債務	305	306
その他	1,489	1,446
固定負債合計	9,366	12,779
負債合計	44,804	46,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,291	708
利益剰余金	79,157	78,965
自己株式	△2,910	△4,032
株主資本合計	84,622	82,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	735	637
繰延ヘッジ損益	36	△15
為替換算調整勘定	△99	45
退職給付に係る調整累計額	180	171
その他の包括利益累計額合計	853	838
非支配株主持分	9,587	9,273
純資産合計	95,063	92,836
負債純資産合計	139,867	139,413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	26,693	28,795
売上原価	20,555	22,114
売上総利益	6,138	6,680
販売費及び一般管理費		
配送費	1,317	1,269
給料及び賞与	950	1,072
役員賞与引当金繰入額	15	10
退職給付費用	46	40
その他	2,675	2,889
販売費及び一般管理費合計	5,004	5,282
営業利益	1,134	1,398
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	26	61
受取ロイヤリティー	1,808	668
持分法による投資利益	41	—
雑収入	81	56
営業外収益合計	1,958	789
営業外費用		
支払利息	17	23
固定資産除却損	12	9
設備撤去費	27	63
持分法による投資損失	—	87
雑損失	23	58
営業外費用合計	81	243
経常利益	3,012	1,945
特別利益		
投資有価証券売却益	—	68
補助金収入	—	33
受取保険金	9	238
特別利益合計	9	341
特別損失		
固定資産圧縮損	9	—
特別損失合計	9	—
税金等調整前四半期純利益	3,012	2,286
法人税、住民税及び事業税	888	1,067
法人税等調整額	71	△283
法人税等合計	959	783
四半期純利益	2,052	1,503
非支配株主に帰属する四半期純利益	122	226
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,929	1,276

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,052	1,503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26	△94
繰延ヘッジ損益	2	65
為替換算調整勘定	—	△0
退職給付に係る調整額	△3	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	△55	43
その他の包括利益合計	△29	1
四半期包括利益	2,022	1,504
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,895	1,261
非支配株主に係る四半期包括利益	127	243

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月14日開催の取締役会決議に基づき、取得株式数1,000,000株または総額3,000百万円を上限として、2019年5月16日から2019年12月23日の期間で自己株式の取得を進めており、当第1四半期連結会計期間末時点において、463,700株、1,121百万円の自己株式の取得を行っております。この取得等により、当第1四半期連結累計期間において自己株式が1,122百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が4,032百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,201	5,029	462	26,693	—	26,693
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	33	10	62	△62	—
計	21,220	5,062	473	26,756	△62	26,693
セグメント利益	625	283	224	1,134	—	1,134

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,168	5,132	494	28,795	—	28,795
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	41	16	68	△68	—
計	23,178	5,173	511	28,863	△68	28,795
セグメント利益	992	165	240	1,398	—	1,398

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。